

令和 5 (2023) 年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース

実技

【注意事項】

- 1) 「はじめ」の合図があるまでは、この問題冊子は開いてはいけません。
- 2) 試験時間中、平面や立体構成、パフォーマンス（身体表現・言語表現）など多様な方法での解答及び解答準備が行われ、場合によっては他の受験者が大きな音を発したり、大きく身体を動かすことがあります。あらかじめ、承知おき下さい。
- 3) この問題冊子は、表紙（1枚）、問題紙（1枚）、レポート解答紙（2枚）、下書き用紙（2枚）の合計6枚からなっています。
- 4) この冊子以外には、本日の試験時間中に自由に利用可能なメモ道具1式（バインダー1つ、A4コピー用紙10枚、鉛筆1本、ボールペン1本、消しゴム1個）と番号札が配布されています。
- 5) 試験室の共用台には、試験時間に自由に使うことができる画材や道具があります。共用台に置かれた画材や道具ごとに示された（ ）内の値は一人あたりの上限です。必ずしも使用する必要はありませんが、使用する場合は上限を守って下さい。
- 6) 「はじめ」の合図で、ストラップのついた番号札を首にかけて下さい。また問題紙、レポート解答紙、下書き用紙、メモ道具1式を確認して下さい。過不足がある場合は手をあげて下さい。
- 7) レポート解答紙に解答する際は、受験番号欄に受験番号を記入して下さい。
- 8) 当試験室で配布されたもの以外を使用してはいけません。
- 9) 印刷に不鮮明な箇所がある場合は、手をあげて下さい。
- 10) 問題冊子、下書き用紙、メモ道具、共用台に置かれていた材料などは、すべて持ち帰ってはいけません。

令和5（2023）年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 未来構想デザインコース

実技問題紙

問題1 表現とプレゼンテーション

「未来の“境界線”」について、平面や立体構成、パフォーマンス（身体表現・言語表現）などあなた自身が考えた方法で表現して下さい。表現方法は自由です。共用台に置かれた材料は範囲内の量で使うことができます。

（10：00～12：00、120分間）

12時から、受験番号順に、各自3分間でプレゼンテーションを試験室内で行います。時間の超過は認められません。また全員で他の人のプレゼンテーションを聞きます。

メモなどは自由にとって構いません。

（12：00～12：30、1人3分間、全体約30分間）

問題2 対話

問題1で表現した「未来の“境界線”」について、対話して下さい。

対話では、他の人の表現について意見を述べ合ってください。

対話の進行や内容は、全員で考えて下さい。

メモなどは自由にとって構いません。

（13：45～14：45、60分間）

問題3 レポート

問題1と問題2での自分の思考のプロセスを示した上で「未来の“境界線”」の方向性や方法を、800字程度で記述して下さい。

（15：00～16：00、60分間）